授 業 概 要

【2023 年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
憲法	講義	鎌田　普

〔授業の回数〕	〔時間数〕(単位数)	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
15回	30時間(2単位)	こども未来学科	1年次　前期

〔授業の目的・ねらい〕

日本国憲法の成立過程および基本原理とその相互関係を考察する。また、人権保障について理解を深めるとともに、統治機構など日本国憲法の基礎知識を習得する学習とする。

〔授業全体の内容の概要〕

授業は、具体的事例や判例の紹介をしながら、社会生活と法の作用、役割について理解させる。

〔授業修了時の達成課題(到達目標)〕

1. 日本国憲法の基本構造を理解するとともに、法律が何のために存在するのか理解している。
2. 法律を学ぶ意義を認識し、自分なりの法律的判断ができる。

コマ数	授業のテーマ	授業の内容
1	社会生活と法	学習ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ・法の体系、法学の基礎知識について理解する。
2	憲法の歴史	日本憲法史について学ぶ。
3	基本原理(基本的人権の保障)	総説、国民主権主義、基本的人権の尊重について学ぶ。
4	基本原理(基本的人権の保障)	
5	基本原理(三権分立)	国民の権利と自由を保障する「三権分立」の原則を学ぶ。
6	基本原理(平和主義)	平和主義と平和的生存権
7	法の下の平等	包括的人権と法の下の平等を理解する。
8	生活保障	社会権、憲法25条の規定、生存権の法的性格を学ぶ。
9	生活保障	
10	地方自治	地方自治の意義、地方公共団体、住民投票について学ぶ。
11	憲法9条	憲法9条の解釈と運用について学ぶ。
12	具体的提示によるﾃﾞｨﾍﾞｰﾄ	各議題等について理解を深めるために、ﾁｰﾑによるﾃﾞｨﾍﾞｰﾄ学習を行う。
13	具体的提示によるﾃﾞｨﾍﾞｰﾄ	
14	具体的提示によるﾃﾞｨﾍﾞｰﾄ	
15	科目のまとめ	基礎知識が習得できているか振り返るとともに、学習のまとめを行う。

〔使用ﾃｷｽﾄ・参考文献〕

「憲法」 豊岡短期大学

〔参考文献〕

〔単位認定の方法及び基準〕

1. 学則第 23 条 1 項(認定基準)に基づく
2. 学則第 24 条 1 項(成績の評価)に基づく
3. 評価規定:優(A)100点～80点・良(B)79点～70点・可(C) 69点～60点
4. 評価方法:レポート、筆記試験

授 業 概 要

【2023 年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
情報ﾘﾃﾗｼｰと処理技術　Ⅰ	講義	八幡　幸司

〔授業の回数〕	〔時間数〕(単位数)	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
15回	30時間(2単位)	こども未来学科	1年次　前期

〔授業の目的・ねらい〕

情報ｼｽﾃﾑの発展と役割について理解を深め、これからの情報化社会を生きる上で必要となる基礎知識と技術を身に付ける。

〔授業全体の内容の概要〕

ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰについての基礎知識を学ぶと共に視覚教材を使い、ｲﾝﾀｰﾈｯﾄの世界に触れる。実際に機器に触れることにより基礎的な操作能力を身につける。

〔授業修了時の達成課題(到達目標)〕

1. 学校教育分野で求められている教師の情報機器操作能力を身に付けている。

ｺﾏ数	授業のﾃｰﾏ	授業の内容
1	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰの歴史　1	情報化社会とは。IT、情報ｼｽﾃﾑとは何か。
2	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰの歴史　2	計算機、ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰの発展・発達史について。
3	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰの種類　1	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰの種類、しくみとﾊｰﾄﾞｳｪｱについて。
4	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰの種類　2	
5	ｿﾌﾄｳｪｱについて	ｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞｼｽﾃﾑの歴史、ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ言語・ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝｿﾌﾄ。
6	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰの利用形態	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰの活用手段、情報通信・社会基盤としての情報ｼｽﾃﾑ。
7	画像処理	画像処理ｿﾌﾄの使用方法、情報を取り扱う上での留意点。
8	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰの操作の基本　1	日本語ﾜｰﾄﾞﾌﾟﾛｾｯｻｰの使用方法。
9	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰの操作の基本　2	日本語ﾜｰﾄﾞﾌﾟﾛｾｯｻｰの使用方法。
10	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰの操作の基本　3	表計算ｿﾌﾄの使用方法。
11	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰの操作の基本　4	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝｿﾌﾄの使用方法。
12	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ(ﾈｯﾄﾜｰｸ)について	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄの歴史やしくみ、情報ﾈｯﾄﾜｰｸについて。
13	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ実践	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ検索のしくみ、検索ｴﾝｼﾞﾝ、使用方法について。
14	情報社会の問題点	情報ｼｽﾃﾑの脆弱性、情報ｾｷｭﾘﾃｨの課題や対策について。
15	科目のまとめ	基礎知識・技能が習得できているか振り返るとともに、学習のまとめを行う。

〔使用ﾃｷｽﾄ・参考文献〕

「情報ﾘﾃﾗｼｰと処理技術」 豊岡短期大学

〔参考文献〕

〔単位認定の方法及び基準〕

1. 学則第 23 条 1 項(認定基準)に基づく
2. 学則第 24 条 1 項(成績の評価)に基づく
3. 評価規定:優(A)100点～80点・良(B)79点～70点・可(C) 69点～60点
4. 評価方法:ﾚﾎﾟｰﾄ、筆記試験

授 業 概 要

【2023 年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ	演習	芦峰　隆章

〔授業の回数〕	〔時間数〕(単位数)	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
15回	30時間(2単位)	こども未来学科	1年次　前期

〔授業の目的・ねらい〕

今日では幼稚園や保育園に外国人の園児が入園してくることもあり、保育現場で英語を使う機会も増えている。本科目では、英語表現の基礎となる文法・構文の復習を行うとともに、保育の現場で必要な英語表現を運用できる力を身に付けることを目標とする。

〔授業全体の内容の概要〕

・実際のｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝに役立つよう「話す」ことを重視した内容とする。(ペアワーク、グループワークを多く取り入れる)
・英語の歌や絵本、遊戯を通し、美しい発音や楽しく表現することを学ぶ。

〔授業修了時の達成課題(到達目標)〕

1. 基礎文法、単語、慣用表現を学ぶことにより、会話に必要な表現力を習得している。
2. 英語らしい美しい発音を習得している。

ｺﾏ数	授業のﾃｰﾏ	授業の内容
1	ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ・歌と遊戯	学習ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ・英語の基礎を学ぶ。
2	家族と友達・歌と遊戯	「家族と友達」に関連する保育の英語を学ぶ。
3	人々・歌と遊戯	「人々」に関連する保育の英語を学ぶ。
4	家と私の町・歌と遊戯	「家と私の町」に関連する保育の英語を学ぶ。
5	余暇と休暇・歌と遊戯	「余暇と休暇」に関連する保育の英語を学ぶ。
6	テレビと映画・歌と遊戯	「テレビと映画」に関連する保育の英語を学ぶ。
7	食べ物と飲み物・歌と遊戯	「食べ物と飲み物」に関連する保育の英語を学ぶ。
8	将来・歌と遊戯	「将来」に関連する保育の英語を学ぶ。
9	文の構造・絵本の音読	文型の理解から学習を深める。
10	時制・絵本の音読	時制などの理解から学習を深める。
11	文の種類・絵本の音読	さまざまな文型の理解から学習を深める。
12	文の種類・絵本の音読	さまざまな文型の理解から学習を深める。
13	前置詞・絵本の音読	さまざまな文型の理解から学習を深める。
14	英文を読んでみましょう	これまでの学習を活かして表現、発表を行う。
15	科目のまとめ	基礎知識が習得できているか振り返るとともに、学習のまとめを行う。

〔使用ﾃｷｽﾄ・参考文献〕

「英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ」 豊岡短期大学
「Happy English for childcare」 金星堂

〔参考文献〕

〔単位認定の方法及び基準〕

1. 学則第 23 条 1 項(認定基準)に基づく
2. 学則第 24 条 1 項(成績の評価)に基づく
3. 評価規定:優(A)100点～80点・良(B)79点～70点・可(C) 69点～60点
4. 評価方法:ﾚﾎﾟｰﾄ、筆記試験

授 業 概 要

【2023 年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
健康科学	講義	手登根雄次

〔授業の回数〕	〔時間数〕(単位数)	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
8回	15時間(1単位)	こども未来学科	1年次　前期

〔授業の目的・ねらい〕

日常生活においては、テレビ番組、健康雑誌、健康器具などで健康に関する情報があふれており、私たち国民の関心の深さをうかがうことができる。このような状況の中、高齢化社会を迎えているわが国において、個人の価値観や健康のとらえ方も多様化している。本講義では、客観的に状況を分析し、科学的な健康づくりを学ぶことにより、自己の健康・体力づくができるようになることを目的とする。

〔授業全体の内容の概要〕

健康な生活とは何かを考える事により、自己の生活を振り返り、健康を高めるための運動について理解を深める。

〔授業修了時の達成課題(到達目標)〕

1. 現代生活における健康と運動の意味、運動と心身の関連、健康生活の為の運動の意義を理解している。

コマ数	授業のテーマ	授業の内容
1	健康の概念	我が国の健康と社会状況、現代社会の健康観、その他施策について。
2	運動の生化学	呼吸、循環、筋肉、神経、内分泌など運動の生理について学ぶ。
3	運動と栄養	食生活、健康日本21、基礎代謝など栄養との関連を学ぶ。
4	運動と体の健康	体力や疲労の概念、ｱｯﾌﾟ及びﾀﾞｳﾝなどのﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ理論を学ぶ。
5	運動と心の健康	生活や運動とﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽの関連性について学ぶ。
6	健康生活と運動	現代生活と運動不足や生活習慣が及ぼす影響について学ぶ。
7	ｽﾎﾟｰﾂ医学の基礎知識	運動処方の基本的な考え方、ﾒﾃﾞｨｶﾙﾁｪｯｸ等について学ぶ。
8	科目のまとめ	基礎知識が習得できているか振り返るとともに、学習のまとめを行う。

〔使用ﾃｷｽﾄ・参考文献〕

「健康科学」 豊岡短期大学

〔参考文献〕

〔単位認定の方法及び基準〕

1. 学則第 23 条 1 項(認定基準)に基づく
2. 学則第 24 条 1 項(成績の評価)に基づく
3. 評価規定:優(A)100点～80点・良(B)79点～70点・可(C) 69点～60点
4. 評価方法:ﾚﾎﾟｰﾄ、筆記試験

授 業 概 要

【2023年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
スポーツ	講義	當眞千晶

〔授業の回数〕	〔時間数〕(単位数)	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
3日	30時間(1単位)	こども未来学科	1年次　前期

〔授業の目的・ねらい〕

生涯にわたって運動やスポーツを自ら実践することができる能力を身に付けることを目的とする。各種目に関する講義も適切に行い、健康と安全に留意しながら個人的・集団的スポーツを楽しむことができる作戦の立て方や審判の仕方、競技運営方法を学ぶ。

〔授業全体の内容の概要〕

各種目スポーツを仲間とともに体験し、技能の上達を図りスポーツの楽しさを味わう。

〔授業修了時の達成課題(到達目標)〕

1. 仲間とともに楽しみ、技術的に上達し、ルールを理解し審判ができるようになるとともに試合運営ができるようになる。

コマ数	授業のテーマ	授業の内容
1	ガイダンス	講義についてのガイダンス
2	バレーボール①	基本練習
3	バレーボール②	応用練習
4	バレーボール③	ゲーム・審判
5	バドミントン①	基本練習
6	バドミントン②	シングルのゲーム・審判
7	バドミントン③	ダブルスのゲーム・審判
8	バスケットボール①	基本練習
9	バスケットボール②	応用練習
10	バスケットボール③	ゲーム・審判
11	卓球①	基本練習
12	卓球②	シングルのゲーム・審判
13	卓球③	ダブルスのゲーム・審判
14	ニュースポーツ①	ニュースポーツを学ぶ
15	ニュースポーツ②	基礎練習・応用練習

〔使用テキスト・参考文献〕

「健康科学」 豊岡短期大学

〔参考文献〕

〔単位認定の方法及び基準〕

1. 学則第 23 条 1 項(認定基準)に基づく
2. 学則第 24 条 1 項(成績の評価)に基づく
3. 評価規定:優(A)100点～80点・良(B)79点～70点・可(C) 69点～60点
4. 評価方法:レポート、筆記試験

授　業　概　要

【2023 年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
保育原理	(講義・演習・実習)	宮川　名子

〔授業の回数〕	〔時間数〕	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
15　回	30 時間	こども未来学科	1 年　　前期

〔授業の目的・ねらい〕

保育原理では,保育・教育に携わる者に求められる保育に関する基本的な知識を学び,保育者としての視点を養い,保育・幼児教育の根幹をなす原理を追求する。

〔授業全体の内容の概要〕

本授業は,保育の本質,目的を学ぶと共に,保育の意義,保育所保育指針における保育の基本,保育の内容と方法の基本,保育の思想と歴史的変遷,保育の現状と課題を理解する。また,現代における多様な保育のあり方を外観し, 子ども一人ひとりが心豊かな生涯を送れるよう,保育の方法を習得する。

〔授業終了時達成課題(到達目標)〕

・保育の意義および保育所保育指針における保育の基本を理解する。・保育の内容、方法の基本について理解する。
・保育の思想と社会的変遷について理解する。　・保育の現状と課題について考察する。

コマ数	授業のテーマ	授業の内容
1	保育の意義	保育の意義を踏まえ、子どもの最善の利益を考慮した保育、家庭との連携、保育の社会的意義について理解する。
2	保育所保育指針における保育の基本	保育所保育指針における保育の基本を理解し、環境による保育、発達に応じた保育、養護と教育の一体性について理解を深める。
3	保育の計画と評価	保育の計画の必要性を踏まえ、全体的な計画と教育課程、保育の計画、保育における評価について理解する。
4	子育て支援	保育所における子育て支援、保護者における子育て支援、地域の保護者等に対する子育て支援について理解する。
5	保育士の専門性	保育の専門性を理解し、職員の資質向上のあり方を知る。
6	保育の質を高めるための方法	保育の質を高める方法について学ぶ。
7	欧米の保育思想の展開と保育施設の発展	近代から現代の保育思想を学び、保育施設の発展の過程を理解する。
8	わが国における保育の歴史的変遷	幼稚園の萌芽の設立～戦後における保育制度改革について理解する。
9	保育の制度　保育所	保育所の役割、制度と現状を知る。
１０	保育の制度　幼稚園	幼稚園の役割、制度と現状を知る。
１１	保育の制度　認定こども園	認定こども園の役割、制度と現状を知る。
１２	家庭的保育事業	家庭的保育事業の役割、制度と現状を知る。
１３	日本の保育の現状と課題	日本の保育の現状と課題について、調査し、発表する。
１４	諸外国の保育の現状	諸外国の保育制度、保育制度の実際について理解する。
１５	まとめ	授業の振り返りを行う。

〔使用テキスト〕

保育原理（豊岡短期大学）

〔参考文献〕

保育所保育指針、幼稚園教育要領解説

〔単位認定の方法及び基準〕

1.学則第 18 条 1 項(認定基準)に基づく
2.学則第 19 条 1 項･2 項(成績の評価と履修認定)に基づく
3.評価規定…優(A)100 点～80 点、良(B)79 点～70 点、可(C)69 点～60 点
4.レポート･筆記試験

授 業 概 要

【2023年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
教育原理	講義	西本　裕輝

〔授業の回数〕	〔時間数〕(単位数)	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
15回	30時間(2単位)	こども未来学科	1年次　前期

〔授業の目的・ねらい〕

教育の思想と歴史変遷や幼稚園と保育所の歴史や教育制度についてなどの理論を修得した上で、現状教育のさまざまな取り組みについて理解を深めることにより、専門職として今求められている保育者の資質について認識する。幼稚園や保育所、学校、地域社会において、「育てるとは、学ぶとは、教えるとは」を問い、その答えを探求していくことを目的とする。

〔授業全体の内容の概要〕

「教育・保育とはなんだろう」の問いかけからｽﾀｰﾄし、学び、教え、育てることの意味についての理解を深める。幼稚園・保育所・小学校との連携や生涯学習社会を視野に入れながら幼児教育の役割に触れることにより教職への関心意欲を高めるとともに、脅威についての基本知識の習得を図る。

〔授業修了時の達成課題(到達目標)〕

1. 教育の意義、目的及び児童福祉等とのかかわりについて理解している。
2. 今日の思想と歴史的変遷について学び、教育に関する基礎的な理論について理解している。
3. 教育の制度について理解している。
4. 教育実践の様々な取り組みについて理解している。
5. 生涯学習社会における教育の現状と課題について理解している。

ｺﾏ数	授業のﾃｰﾏ	授業の内容
1	教育・保育とは何か	教育の意義について学ぶ。
2	教育・保育とは何か	教育の目的について学ぶ。
3	教育・保育とは何か	教育と児童福祉の関連性について学ぶ。
4	教育・保育とは何か	人間形成と家庭・地域・社会等との関連性について学ぶ。
5	教育の思想と歴史的変遷	諸外国の教育思想と歴史について学ぶ。
6	教育の思想と歴史的変遷	日本の幼児教育思想と保育の歴史について学ぶ。
7	教育の思想と歴史的変遷	児童館と教育観の変遷について学ぶ。
8	教育・保育の制度	教育・保育制度の基礎について学ぶ。
9	教育・保育の制度	教育・保育法規、教育・保育行政の基礎について学ぶ。
10	教育・保育の制度	諸外国の教育・保育制度について学ぶ。
11	教育・保育の実践	教育・保育実践の基礎理論ー内容、方法、計画評価
12	教育・保育の実践	教育・保育実践の多様な取り組みについて学ぶ。
13	生涯学習社会における教育	生涯学習社会における幼児教育と保育について学ぶ。
14	生涯学習社会における教育	現代の教育課題について学ぶ。
15	生涯学習社会における教育	専門職としての保育者について考察する。

〔使用ﾃｷｽﾄ・参考文献〕

「教育原理」 豊岡短期大学

〔参考文献〕

「幼稚園教育要領」並びに「保育所保育指針」

〔単位認定の方法及び基準〕

1. 学則第 23 条 1 項(認定基準)に基づく
2. 学則第 24 条 1 項(成績の評価)に基づく
3. 評価規定:優(A)100点～80点・良(B)79点～70点・可(C) 69点～60点
4. 評価方法:課題ﾚﾎﾟｰﾄ、筆記試験

授 業 概 要

【2023年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
子ども家庭福祉	講義	宮田　英治

〔授業の回数〕	〔時間数〕(単位数)	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
15回	30時間(2単位)	こども未来学科	1年次　前期

〔授業の目的・ねらい〕

現代社会における子ども家庭福祉と意義と歴史変遷、子どもの人権擁護について学ぶ。また、子ども家庭福祉の現状と課題、動向と展望についても理解する。

〔授業全体の内容の概要〕

望ましい保育者となるために、子ども家庭福祉の領域に関する基本的な知識・技能・人間性として身につけなければならないこと等について学ぶ。

〔授業修了時の達成課題(到達目標)〕

1. 現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史的変遷について理解している。
2. 子どもの人権擁護について理解している。
3. 子ども家庭福祉の制度や実施体系等について理解している。
4. 子ども家庭福祉の現状と課題、動向と展望について理解している。

コマ数	授業のテーマ	授業の内容
1	子ども家庭福祉の理念と概念	子ども家庭福祉を理解する視点、基本構造を学ぶ。
2	子ども家庭福祉の歴史的変遷と動向 現代社会と子ども家庭福祉	子ども家庭福祉の歴史的変遷を諸外国の特徴、ﾆｰｽﾞの変化、担い手の変化を踏まえて学ぶ。
3		
4	子どもの人権擁護の歴史的変遷	子どもの人権擁護のしくみがどのように構築されてきたのかを学ぶ。
5	児童の権利に関する条約	子ども観、人権擁護の歴史的変遷、児童の権利に関する条約を学ぶ。
6	子どもの人権擁護と現代社会における課題	現代社会における子どもの人権擁護に関連する課題を事例を通して学ぶ。
7	子ども家庭福祉の制度と法体系	児童福祉法をはじめとする各法律に基づき構築されている、子ども家庭福祉の実施体制全般を学ぶ。
8	子ども家庭福祉の実施体系	
9	児童福祉施設	保育所をはじめとする児童福祉施設の種類や目的、役割等を学ぶ。
10	子ども家庭福祉の専門職	機関や施設に配置されている専門職、その役割や位置づけ、専門職倫理について学ぶ。
11	少子化と地域子育て支援	少子高齢化の要因や子育て支援が必要とされる背景、経緯を学ぶ。
12	母子保健と子どもの健全育成	妊娠から学童期までの支援体制を学び、今後の課題について考察する。
13	多様な保育ﾆｰｽﾞへの対応	制度を踏まえて、多様な保育ﾆｰｽﾞに対応するためのしくみや、さまざまな保育形態について学ぶ。
14	次世代育成支援と子ども家庭福祉の推進	次世代育成支援対策や支援制度の課題、幼保連携という考え方について学ぶ。
15	地域における連携、協働とﾈｯﾄﾜｰｸ	保育実践現場で展開される様々な連携・協働、ﾈｯﾄﾜｰｸについて保育所保育指針から学ぶ。

〔使用ﾃｷｽﾄ・参考文献〕

「こども家庭福祉」 豊岡短期大学

〔参考文献〕

〔単位認定の方法及び基準〕

1. 学則第 23 条 1 項(認定基準)に基づく
2. 学則第 24 条 1 項(成績の評価)に基づく
3. 評価規定:優(A)100点～80点・良(B)79点～70点・可(C) 69点～60点
4. 評価方法:ﾚﾎﾟｰﾄ、筆記試験

授 業 概 要

【2023年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
社会福祉論	講義	大山　望

〔授業の回数〕	〔時間数〕(単位数)	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
15回	30時間(2単位)	こども未来学科	1年次　前期

〔授業の目的・ねらい〕

社会環境や個人、家庭の問題に焦点をあて、社会福祉のサービスの概要と必要性を学習し、保育分野をはじめ、社会福祉に関する法制度や知識についての理解を深める。また、保育における相談援助の過程と方法・技術を学習し、共生社会の実現を担う保育・福祉従事者としての実践力を習得する。

〔授業全体の内容の概要〕

授業は、子ども家庭福祉との関連の中で、望ましい保育者となるために、社会福祉の意義や歴史的変遷、その運営の制度や技術について概説する。

〔授業修了時の達成課題(到達目標)〕

1. 現代社会における社会福祉の意義と歴史的変遷について理解している。
2. こどもの権利や家庭支援について理解している。
3. 社会福祉の制度や実施体系について理解している。
4. 社会福祉における相談援助について理解している。
4. 社会福祉利用者の保護にかかわる仕組みについて理解している。
5. 地域共生社会について理解している。

コマ数	授業のテーマ	授業の内容
1	社会福祉の理念と概念	社会福祉を支える理念や思想を学ぶ。
2 3	社会福祉の歴史的変遷	我が国および欧米の社会福祉の歴史的変遷を学ぶ。
4 5	社会福祉の制度と法体系	社会福祉の各制度(貧困、こども、障害、高齢、母子父子、地域福祉など)と法体系、実施体系の概要を学ぶ。
6 7	社会福祉施設と社会福祉の専門職	社会福祉の各制度に関連する施設、社会福祉従事者、専門性と倫理について学ぶ。
8	社会福祉における相談援助とその理論	相談援助の起源や発展過程、その定義を学ぶ。
9	相談援助の定義とｹｰｽﾜｰｸの原則	ｹｰｽﾜｰｸの定義、ﾊﾞｲｽﾃｨｯｸの 7 原則について学ぶ。
10	相談援助の意義と機能	相談援助の枠組みや社会資源の必要性、援助屋の役割を学ぶ。
11	相談援助の対象と過程	ｹｰｽﾜｰｸやｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸの展開過程やその基礎知識を学ぶ。
12	様々な相談援助の方法と技術①	各種ｱﾌﾟﾛｰﾁ、さまざまな技法の基礎知識を学ぶ。 面接の技術や技法、留意点を理解する。
13	様々な相談援助の方法と技術②	
14	利用者の保護に関わるしくみ	情報提供と第三者評価、権利擁護と苦情解決について学ぶ。
15	社会福祉の動向と課題	少子高齢社会における子育て支援や共生社会の実現について学ぶ。

〔使用ﾃｷｽﾄ・参考文献〕

「社会福祉論」 豊岡短期大学

〔参考文献〕

〔単位認定の方法及び基準〕

1. 学則第 23 条 1 項(認定基準)に基づく
2. 学則第 24 条 1 項(成績の評価)に基づく
3. 評価規定:優(A)100点～80点・良(B)79点～70点・可(C) 69点～60点
4. 評価方法:ﾚﾎﾟｰﾄ、筆記試験

授 業 概 要

【2023年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
社会的養護　Ⅰ	講義	須藤　竜

〔授業の回数〕	〔時間数〕(単位数)	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
15回	30時間(2単位)	こども未来学科	1年次　前期

〔授業の目的・ねらい〕

社会的養護の意義について理解するとともに、児童の権利擁護、制度や権利擁護を踏まえた実施体制、児童の自立支援等について学ぶ。また、保育士として社会的養護における支援者としての役割と支援の在り方について理解する。

〔授業全体の内容の概要〕

授業は、望ましい保育者になるために必要な社会的養護の基本的な知識、専門性、価値観を概説する。

〔授業修了時の達成課題(到達目標)〕

1. 現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷について理解している。
2. 社会的養護と児童福祉の関連性及び児童の権利擁護について理解している。
3. 社会的養護の制度や実施体制等について理解している。

コマ数	授業のテーマ	授業の内容
1	社会的養護の理念と概念	社会的養護の理念と機能、形態や概念について学ぶ。
2	社会的養護の歴史的変遷	江戸時代から現代までの我が国における社会的養護の変遷を学ぶ。
3	子どもの人権擁護と社会的養護	社会的養護における子どもの権利擁護と取り組みについて学ぶ。
4	社会的養護の基本原則	社会的養護の基本原則、新しい社会的養育ﾋﾞｼﾞｮﾝを理解する。
5	社会的養護における保育士等の倫理と責務	子どもの権利と援助の視点、社会的養護における子どもへの権利侵害を防止する取組み
6	社会的養護の制度と法体系	社会的養護の制度と実施体系、社会的養護に関する法律、児童福祉施設の役割や目的などを理解する。
7	社会的養護の仕組みと実施体系	
8	社会的養護の対象	
9	家庭養護と施設養護	家庭養護と施設養護の特徴、施設等の運営指針の理解、家庭養護の要件と今後の在り方について学ぶ。
10	社会的養護に関わる専門職	社会的養護における各種専門職の役割と援助技術、連携の必要性等について学ぶ。
11	社会的養護に関する社会的状況	社会や家族、地域の変化から起こる社会的養護の現状と課題について学ぶ。
12	施設等の運営管理	施設養護の実際、施設入所から退所又はｱﾌﾀｰｹｱまで、児童の権利擁護のための施設としての役割を学ぶ。
13	被措置児童等の虐待防止	被措置児童の定義、虐待の禁止と通告義務を学ぶ。
14	社会的養護と地域福祉	社会的養護における地域福祉への関わりと課題を学ぶ。
15	保育現場における社会的養護の現状と課題	基礎知識が習得できているか振り返るとともに、学習のまとめを行う。

〔使用ﾃｷｽﾄ・参考文献〕

「社会的養護　Ⅰ」 豊岡短期大学

〔参考文献〕

〔単位認定の方法及び基準〕

1. 学則第 23 条 1 項(認定基準)に基づく
2. 学則第 24 条 1 項(成績の評価)に基づく
3. 評価規定:優(A)100点～80点・良(B)79点～70点・可(C) 69点～60点
4. 評価方法:ﾚﾎﾟｰﾄ、筆記試験

授 業 概 要

【2023 年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
障がい児保育	演習	緒方　茂樹

〔授業の回数〕	〔時間数〕(単位数)	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
15回	30時間(2単位)	こども未来学科	2年次　前期

〔授業の目的・ねらい〕
各種障がい種別毎に、その障がい特徴と保育における具体的な対応について理解する。

〔授業全体の内容の概要〕
インクルーシブ教育・保育の理念に基づいて、国際診断基準などに基づいた各種障がいの特徴と対応について、事例研究あるいは演習などを通じて学ぶ。特別なニーズを有する子どもを支援するための基礎的なアプローチを知り、具体的な事例を基に地域支援ネットワークについて学ぶことを通じて、関係諸機関との連携の重要性についても理解する

〔授業修了時の達成課題(到達目標)〕
各障害の種別について、それぞれの障害特性を個別に理解できており、それに基づいた保育現場のおける具体的な子どもへの対応の留意点と方法を考えることができる

コマ数	授業のテーマ	授業の内容
1	障がい児保育の歴史	障がい児保育・特別支援教育の歴史的変遷について学ぶ
2	早期発見・早期対応と療育	特別なニーズを有する子どもの早期発見・早期対応の重要性について、乳幼児健康診断の観点も踏まえて学ぶ
3	定型発達の考え方	子どもの定型発達について知り、定型発達の視点に基づいた子ども理解の重要性について、障害理解の観点から学ぶ
4	子どもの発達評価の実際	沖縄県児童票スタンダード「ひまわり」を用いてアクティブラーニング形式で定型発達と発達評価について学ぶ
5	知的障がいの特性とその対応	知的障がい(ダウン症含む)について、その障がい特性と保育における対応の在り方について学ぶ
6	聴覚・言語障がい、視覚障がいの特性とその対応	聴覚・言語障がい、視覚障がいの特性とその対応の在り方について学ぶ
7	肢体不自由、重度重複障がい、難病の特性とその対応	肢体不自由、重度重複障がい、難病の特性とその対応の在り方について学ぶ
8	発達障害(AD/HD)の特性とその対応	発達障害(AD/HD)の特性とその対応について詳細に学ぶ
9	発達障がい(LD)の特性とその対応	発達障がい(LD)の特性とその対応について詳細に学ぶ
10	発達障がい(ASD)の特性とその対応	発達障がい(ASD)の特性とその対応について詳細に学ぶ
11	発達障害のある子どもの理解	ASDの知覚認知特性についてアクティブラーニング形式で体験し、その特性を学ぶ
12	組織・地域で特別なニーズを有する子どもを支える	子どもを中心とした関係所機関について知り、人的・物的リソースの活用について学ぶ
13	子どもを中心とした地域支援ネットワーク実際	地域における支援ネットワークの実際を事例として素愉快しながら、保育園、こども園のある地域に存在するリソースを知ることの重要性を学ぶ
14	事例研究「仮想事例りょうくんの成長を追って」	仮想事例の成長を追いながら、それぞれの発達段階に応じた保育の在り方について復習する
15	まとめと障がい児保育の今後の課題と展望	アクティブラーニング形式で、これまでの学びを振り返り、今後の障がい児保育に向けた課題と展望を明らかにする

〔使用テキスト・参考文献〕
特別なニーズを有する子どもの育ちと学びを支えるために/スライドデック(事前配布)

〔参考文献〕
よくわかる障がい児保育/ミネルヴァ書房

〔単位認定の方法及び基準〕
1. 学則第 23 条 1 項(認定基準)に基づく
2. 学則第 24 条 1 項(成績の評価)に基づく
3. 評価規定:優(A)100点～80点・良(B)79点～70点・可(C) 69点～60点
4. 評価方法:筆記試験

授 業 概 要

【2023年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
保育者論	講義	大城　克也

〔授業の回数〕	〔時間数〕(単位数)	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
15回	30時間(2単位)	こども未来学科	1年　後期

〔授業の目的・ねらい〕
保育者の役割と倫理観について理解する。保育士の制度的位置づけ、専門性を理解する。保育者の連携・協働を理解する。
保育者の資質向上、キャリア形成の意義について学ぶ。

〔授業全体の内容の概要〕
保育者として子どもと関わること(職業観)をイメージしながら、保育者の役割、保育の専門性について、実践例等を交え学ぶ。

〔授業修了時の達成課題(到達目標)〕
保育者の職務と役割について理解ができ、保育者としての資質向上とキャリア形成を考えることが出来る。

コマ数	授業のテーマ	授業の内容
1	保育者の役割と倫理	日本の保育の歩み　保育者の役割　職務内容
2	保育士の制度的位置づけ	児童福祉法における保育士の定義　資格・要件等
3	「保育とは　保育者とは」	○グループワーク（求められる保育　保育者とは）
4		○発表
5	保育者の専門性	子どもの権利条約について　保育士と幼稚園教諭の役割
6		養護と教育の一体化　「五領域」について
7		保育計画に基づく実践と評価について
8		保護者支援（事例説明）支援の方法
9	保育者の協同と連携	○グループ調べ学習　（保育者の共同と連携マップ作成）
10		保育における職員間　専門職間と専門機関 保護者や地域社会　幼稚園や小学校
11	保育者の資質向上とキャリア形成	組織としての取り組み　リーダーシップ　研修等 キャリア形成の意義
12	「どのような保育者を目指すか」	○グループワーク（どのような保育者になるか）
13		○個人目標　キャリアビジョンの作成
14		○グループ内発表
15	まとめ	基礎知識・技能が習得できているか振り返るとともに、学習のまとめを行う。
16	筆記試験	

〔使用テキスト・参考文献〕
新しい保育講座 2 保育者論/ミネルヴァ書房

〔参考文献〕
保育所保育指針
保育者論　新・基本保育シリーズ⑦　中央法規

〔単位認定の方法及び基準〕
1. 学則第 23 条 1 項(認定基準)に基づく
2. 学則第 24 条 1 項(成績の評価)に基づく
3. 評価規定:優(A)100点～80点・良(B)79点～70点・可(C) 69点～60点
4. 評価方法:レポート、筆記試験

授 業 概 要

【2023年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
保育の心理学	講義	宮城　元子

〔授業の回数〕	〔時間数〕(単位数)	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
15回	30時間(2単位)	こども未来学科	1年次　後期

〔授業の目的・ねらい〕
生まれてからの発達段階を理解するとともに生涯発達という新しい概念を学び、乳幼児期の発達にどのように関わるのか理解をすすめる。また、非認知能力が注目されており、保育と非認知能力の関係についても理解する。

〔授業全体の内容の概要〕
講義・ビデオ教材を活用してｲﾒｰｼﾞ化を図りながら学ぶ。

〔授業修了時の達成課題(到達目標)〕
各年齢の発達の特徴を理解するとともに現場での実践に役立てる。

ｺﾏ数	授業のﾃｰﾏ	授業の内容
1	授業計画と意義について	発達とは何か、発達心理学とは何か
2	人間に関する発達理論	これまでの人間の発達に関する理論の紹介と現在にたいする過程を学ぶ。
3	これまでの人間の発達に関する理論の紹介と現在にたいする過程を学ぶ。	ピアジェの認知発達理論の紹介と内容を学ぶ。
4	胎児期・新生児期・乳児期の様子	胎児期からの発達理論、新生児期の特徴等を学ぶ。
5 6	情緒の発達、愛着の形成まで	情緒がどのように発達するのかを、これまで実験等を紹介しながら学ぶ。
7 8	幼児期前期の発達	幼児の形態的、機能的発達。イヤイヤ期とは。 ビデオ教材等を利用し、学んでいく。
9	幼児期後期の発達	幼児期後期からの個の芽生え、独立心などを学ぶ。 こどもの遊びについても学ぶ。
10	児童期	児童期の形態的、機能的発達について 児童期の認知の発達、学校への適応問題について
11 12	思春期、青年期の特徴	思春期とは何なのか、その特徴や課題。青年期の特徴や課題を考える。
13	成人前期	ｴﾘｸｿﾝの発達段階におけるﾓﾗﾄﾘｱﾑの考えについて学ぶ。
14	結婚について	現在の結婚観や晩婚化・少子化・高齢化について
15	科目のまとめ	これまで学んだことのまとめ。

〔使用ﾃｷｽﾄ・参考文献〕
「発達心理学」 豊岡短期大学

〔参考文献〕

〔単位認定の方法及び基準〕
1. 学則第 23 条 1 項(認定基準)に基づく
2. 学則第 24 条 1 項(成績の評価)に基づく
3. 評価規定:優(A)100点～80点・良(B)79点～70点・可(C) 69点～60点
4. 評価方法:ﾚﾎﾟｰﾄ、筆記試験

授　業　概　要

【2023 年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
保育の計画と評価 （教育課程論）	（講義・演習・実習）	宮川　名子

〔授業の回数〕	〔時間数〕	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
15　回	30 時間	こども未来学科	1 年　　後期

〔授業の目的・ねらい〕

保育の内容の充実と室の向上に資する教育課程・全体的な計画（保育課程）について理解し、編成・実践・点検・評価・改善の過程についてその全体像を能動的にとらえ、カリキュラム・マネジメントの意義を理解する。

〔授業全体の内容の概要〕

幼児、こどもを育てる上で、大切なこと（目標）、どのような方法・手立て（方針）、どのような内容で、どの時期に、どんな環境で、等々を学ぶ。幼児教育・保育における教育課程・全体的な計画（保育課程）の意義と役割を明らかにする。

〔授業終了時達成課題(到達目標)〕

幼稚園教育要領・保育所保育指針の改訂の変遷について、それぞれの背景や改訂のポイント、教育課程・全体的な計画を編成する意義と編成する際の留意事項及び実施・評価・改善の方法について理解できる。また、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続に向けた取り組みについて理解できる。

コマ数	授業のテーマ	授業の内容
1	教育課程・全体的な計画とは	教育課程・全体的な計画の編成、基本的な考え方、意義と必要性を知る。
2	カリキュラムについて	カリキュラムの基礎理論を理解する。
3	教育課程・保育課程の変遷	日本における教育課程・保育課程の変遷について学ぶ。
4	教育課程・保育課程の編成と評価	時代の変化に対応した教育課程・保育課程のあり方、編成と評価方法を理解する。
5	法規の理解	教育課程・全体的な計画（保育課程）に関わる法規の理解をする。
6	学習指導要領の変遷	学習指導要領の変遷とその特色を知る。
7	長期・短期の指導計画	園生活と長期・短期の指導計を学ぶ。
8	教育課程・全体的な計画（保育課程）の編成と実際	教育課程・全体的な計画（保育課程）を作成する。
9	保育の基本と実践	保育の基本と実践（記録及び省察による教育・保育の質向上）を学ぶ。
１０	保・幼・小の連携	学びをつなぐ保・幼・小連携カリキュラムについて理解する。
１１	保育の歴史	明治・大正・昭和前期、後期の保育の歴史について知る。
１２	危機管理保育	危機管理保育のカリキュラムの意義と必要性を理解する。
１３	教育要領、保育指針の変遷	幼稚園教育要領、保育所保育指針の変遷について学ぶ。
１４	教育課程をめぐる諸問題	教育課程をめぐる諸問題を知る。
１５	信頼される園づくりと子育て支援	信頼される園づくりと地域子育て支援のあり方を学ぶ。

〔使用テキスト〕

教育課程論（豊岡短期大学）

〔参考文献〕

保育所保育指針、幼稚園教育要領解説、こども園教育・保育要領

〔単位認定の方法及び基準〕

1.学則第 18 条 1 項(認定基準)に基づく
2.学則第 19 条 1 項･2 項(成績の評価と履修認定)に基づく
3.評価規定…優(A)100 点～80 点、良(B)79 点～70 点、可(C)69 点～60 点
4.レポート･筆記試験

授 業 概 要

【2023年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
保育内容総論	演習	仲間　優子

〔授業の回数〕	〔時間数〕(単位数)	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
8回	15時間(1単位)	こども未来学科	1年次　後期

〔授業の目的・ねらい〕

保育の歴史や社会的情勢を視野に入れながら保育所や幼稚園の保育全体において重要な位置を占める保育内容について保育所保育指針や幼稚園教育要領を土台に理解を深める。

〔授業全体の内容の概要〕

保育所や幼稚園において、保育の目標を達成するために展開するすべての内容を意味するのが「保育内容」である。子どもの発達の側面から示されている「養護」と 5 領域健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」を総合的に関連づけることや、DVD 教材・ｸﾞﾙｰﾌﾟ学習などでその基本的な考えを理解し、実際の保育場面において状況に応じて考え行動できる力を育成する。

〔授業修了時の達成課題(到達目標)〕

保育内容の構造を理解し、実際の保育場面において状況に応じて考え行動できる力が高まっている。

ｺﾏ数	授業のﾃｰﾏ	授業の内容
1	「保育内容」とは	・保育の基本と保育内容(保育所・幼稚園) ・ﾚﾎﾟｰﾄ作成「乳幼児期の私」 ・ｸﾞﾙｰﾌﾟ学習・発表
2	保育内容の歴史と現在	・日本における保育内容 ・平成元年から平成 20 年の大改定 ・保育所と幼稚園の役割
3	子どもの発達と保育内容 ・3 歳未満の援助の実際	・発達過程と保育内容(保育所保育指針) ・DVD「低年齢児の保育 1 歳児編」
4	ｸﾞﾙｰﾌﾟ学習	・食事・睡眠・排泄・着脱・清潔・運動 ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ
5	子どもの発達と保育内容 ・3 歳以上の保育の実際	・乳幼児期の発達の特性(幼稚園教育要領) ・生きｶの基礎を育む ・DVD「幼稚園の 1 日」
6	ｸﾞﾙｰﾌﾟ学習	・保育所保育指針・幼稚園教育要領 ・養護と5領域
7	保育の計画	・保育過程と指導計画
8	科目のまとめ	・保育内容の理解と自己課題

〔使用ﾃｷｽﾄ・参考文献〕

「保育内容総論」 姫路大学
「保育内容総論」 ﾐﾈﾙｳﾞｧ書房

〔参考文献〕

保育所保育指針
幼稚園教育要領

〔単位認定の方法及び基準〕

1. 学則第 23 条 1 項(認定基準)に基づく
2. 学則第 24 条 1 項(成績の評価)に基づく
3. 評価規定:優(A)100点～80点・良(B)79点～70点・可(C) 69点～60点
4. 評価方法:ﾚﾎﾟｰﾄ、筆記試験

授 業 概 要

【2023年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
こどもと人間関係	演習	宮城　元子

〔授業の回数〕	〔時間数〕(単位数)	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
1.5日	15時間(1単位)	こども未来学科	1年次　後期

〔授業の目的・ねらい〕
新保育所保育指針で示された人との関わりに関する3つのポイントを理解し実践できるようになる。

〔授業全体の内容の概要〕
幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育保育要領との関連も踏まえながら幼児期の人間関係について学ぶ。

〔授業修了時の達成課題(到達目標)〕
保育所保育指針に示されている3つのねらいについて理解を深め実践できるようになる。

コマ数	授業のテーマ	授業の内容
1	領域「人間関係」とは	5領域の人間関係の位置づけを理解する。
2	人間関係を取り巻く社会環境について①	日本社会における少子高齢化がもたらす社会環境の変化を学ぶ。特に地域社会と家庭との関係の変化を学ぶ。
3	人間関係を取り巻く社会環境について②	少子高齢化にともなうこどもを取り巻く変化を学ぶ。
4	人間関係をつむぐ子どもの発達について①	規範意識と道徳性の芽生え、ルールや決まりごとの意味と意義について。一人一人が大切にされることの意義。
5	人間関係をつむぐ子どもの発達について②	子どもの自立心の育ち、子どもの協働性の芽生えとそれをどう支援するかを学ぶ。
6	人間関係と子どもの遊びについて①	こども園のこども達の遊びの観察学習
7	人間関係と子どもの遊びについて②	こども園のこども達の遊びの観察学習
8	人間関係と子どもの生活と課題について	家庭・地域とこども達の関係。多様化する文化とこども達の関係を学び、さらにまとめを行う。

〔使用テキスト・参考文献〕
「子どもと人間関係」 萌文書林

〔参考文献〕

〔単位認定の方法及び基準〕
1. 学則第 23 条 1 項(認定基準)に基づく
2. 学則第 24 条 1 項(成績の評価)に基づく
3. 評価規定:優(A)100点～80点・良(B)79点～70点・可(C) 69点～60点
4. 評価方法:レポート・筆記試験

授 業 概 要

【2023年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
こどもと言葉	講義	新垣　せい子

〔授業の回数〕	〔時間数〕(単位数)	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
8回	15時間(1単位)	こども未来学科	1年次　後期

〔授業の目的・ねらい〕

・言葉が思考の媒体、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ成立等に欠かせないものと、乳幼児の言葉の発達過程を理解する。
・言葉で思考し、話そうとする意欲、話を聞く姿勢、態度、自己表現できる「言葉」の獲得等について理解する。
・ことば遊び、文字体験等の活動を通して、言葉に対する感覚、言葉の持つ美しさ、楽しさを認識し理解する。
・こどもの豊かな言葉を育むにはどうすればよいか、物語、絵本等の体験を通し日常の言葉以外の言葉も理解する。
・言葉に障害のある幼児、外国籍の幼児についての配慮と支援のあり方を理解する。

〔授業全体の内容の概要〕

・乳幼児期の言葉の発達やしくみ、こどもへの先達となる保育者の言葉のあり方、姿勢などについて学習を深める。
・乳幼児期の言葉を獲得する意識を探求する。

〔授業修了時の達成課題(到達目標)〕

・乳幼児の言葉の発達過程が理解できるようになる。
・こども自らが言葉を発することの意味を保育者、友達、保護者との関係から認識し理解できるようになる。
・乳幼児期の言葉の重要性を絵本、物語、言葉遊び文字体験活動も加え、広範囲に役割が認識できるようになる。
・言葉の障害、外国籍の幼児への配慮、支援のあり方を認識し、理解できるようになる。

ｺﾏ数	授業のﾃｰﾏ	授業の内容
1	人の生活と言葉	①言葉とはなにか　②言葉が人間生活の中で果たす役割・機能 ③乳幼児の言葉の特色
2	乳幼児期の言葉の発達と環境	①こどもの発達と言葉の発達　②言葉の発達と環境 ③言葉の面に現れた問題の理解と園における対応
3	領域「言葉」のねらいと内容	①こどもにとって言葉とは　②幼稚園、保育所、認定こども園の特徴と領域「言葉」　③幼稚園教育要領　④保育所保育指針　⑤幼保型認定こども園教育・保育要領
4	領域「言葉」の具体的な内容	①聞く力を育てるために　②言葉による表現を豊かにするために ③考える、想像する力を育てるために　④標識や文字・記号などへの興味、関心を育てるために
5	言葉かけを中心としての援助のかかわり	①0・1・2・3 歳児と保育者のかかわり ②4,5 歳児の活動と保育者のかかわり
6	児童文化財を通しての援助とのかかわり	①お話　②絵本　③紙芝居　④ﾊﾟﾈﾙｼｱﾀｰ　⑤おもちゃ　⑥ﾃﾚﾋﾞ
7	言葉の育ち(言語発達)をとらえる視点	①育ちをとらえる視点　②保育評価の生かし方
8	保育者と言葉のあり方	①言葉の遅れや障害を持つ乳幼児への対応、外国籍のこどもとの対応 ②学習のまとめ、評価

〔使用ﾃｷｽﾄ・参考文献〕

「こどもと言葉」(岡田明、他6名共著)萌文書林

〔参考文献〕

言葉とこどもの文化(豊岡短大)
幼稚園教育要領解説、保育所保育指針解説
幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説

〔単位認定の方法及び基準〕

1. 学則第 23 条 1 項(認定基準)に基づく
2. 学則第 24 条 1 項(成績の評価)に基づく
3. 評価規定:優(A)100点～80点・良(B)79点～70点・可(C) 69点～60点
4. 評価方法:ﾚﾎﾟｰﾄ・筆記試験

授 業 概 要

【2023年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
こどもとﾘｽﾞﾑ表現	演習	天川　七五三

〔授業の回数〕	〔時間数〕(単位数)	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
8回	15時間(1単位)	こども未来学科	1年次　後期

〔授業の目的・ねらい〕

・保育内容を理解し、子どもの音楽表現遊び、身体表現遊びを展開するために必要な知識や技術を音楽表現的領域、身体表現領域から見出し、保育指導法を習得する。

・沖縄のﾘｽﾞﾑやわらべ歌に興味を持つ。

〔授業全体の内容の概要〕

・子どもの活動は、ひとつの領域にとどまるのではなく、他領域での知識や技術と関連させながら子どもにとって表現とは何か、表現する力を育てる意義について共通理解する。

・発達過程を理解し各年齢や発達で楽しめる表現遊び(身体表現・楽器遊び・わらべ歌・ふれあい遊び)についてｸﾞﾙｰﾌﾟで具体的に理解し発表する

〔授業修了時の達成課題(到達目標)〕

1. 子どもの音楽表現、身体表現の指導援助者として保育の中で取り扱う教材に必要な知識を習得する。
2. 沖縄のﾘｽﾞﾑやわらべ歌を理解する。

ｺﾏ数	授業のﾃｰﾏ	授業の内容
1	乳幼児の育ちと表現	現代社会における乳幼児の育ちと表現 ・表現のとらえ方 ・表現と感性 ・現代社会における乳幼児の表現
2	幼稚園教育要領 保育所保育指針,	・幼児教育・保育と表現
3	子どもと環境	・子どもの身体表現を引き出す環境
4 5	楽しい身体表現遊び	・実技 ①ふれあい遊び　②楽器遊び　③身体遊び ④わらべ歌　⑤ｹﾞｰﾑ
6 7 8	ｸﾞﾙｰﾌﾟ学習発表	・ｸﾞﾙｰﾌﾟで役割分担し発表を行う。 「対象年齢・月齢」「ﾃｰﾏ」「ねらい」「方法」

〔使用ﾃｷｽﾄ・参考文献〕

「表現とこどもの運動」 豊岡短期大学

〔参考文献〕

豊かな感性を育む身体表現遊び

〔単位認定の方法及び基準〕

1. 学則第 23 条 1 項(認定基準)に基づく
2. 学則第 24 条 1 項(成績の評価)に基づく
3. 評価規定:優(A)100点～80点・良(B)79点～70点・可(C) 69点～60点
4. 評価方法:ﾚﾎﾟｰﾄ、筆記試験

授 業 概 要

【2023年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
こどもと造形表現　I	演習	平良　亜弥

〔授業の回数〕	〔時間数〕(単位数)	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
8回	15時間(1単位)	こども未来学科	1年次　前期

〔授業の目的・ねらい〕

領域「表現」についての理解を造形表現の分野から深めていき、指導援助の方法、教材(題材)の組み立て方などについて学習を深める。

〔授業全体の内容の概要〕

こどもの発達段階を踏まえた造形活動を考え、段階に応じた内容が展開できるよう演習を通して学習する。

〔授業修了時の達成課題(到達目標)〕

幼児の造形表現の特質や発達過程を理解し、基本的な心構えと指導の展開を考慮した上で、指導援助の方法、教材(題材)の組み立てができるようになる。

コマ数	授業のテーマ	授業の内容
1	授業内容の説明・造形表現の意義	人間の感性と造形表現について学ぶ。
2	造形教育、発達段階と表現について	表現に関する発達段階の特徴を学ぶ。
3	描画材料について	課題演習(描画):製作過程を通じて指導援助の心構えや指導展開を学ぶ。
4	色画用紙で教材製作	課題演習(教材):製作過程を通じて指導援助の心構えや指導展開を学ぶ。
5	造形材料(粘土)について	課題演習(粘土):製作過程を通じて指導援助の心構えや指導展開を学ぶ。
6	絵本について	絵本づくりの構想(ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ)
7	絵本製作	課題演習(絵本):製作過程を通じて指導援助の心構えや指導展開を学ぶ。
8	科目のまとめ	課題演習(絵本):製作過程を通じて指導援助の心構えや指導展開を学ぶ。科目のまとめを行う。

〔使用ﾃｷｽﾄ・参考文献〕

自主制作資料

〔参考文献〕

〔単位認定の方法及び基準〕

1. 学則第 23 条 1 項(認定基準)に基づく
2. 学則第 24 条 1 項(成績の評価)に基づく
3. 評価規定:優(A)100点～80点・良(B)79点～70点・可(C) 69点～60点
4. 評価方法:制作物、課題ﾚﾎﾟｰﾄ

授 業 概 要

【2023年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
児童文化演習	演習	大田　利津子

〔授業の回数〕	〔時間数〕(単位数)	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
15回	30時間(2単位)	こども未来学科	1年次　前期

〔授業の目的・ねらい〕

児童文化とは何かを学び、子どもの成長、発達と児童文化財の関係を考えると共に、教育、保育現場での児童文化財の活用方法を学ぶ。

〔授業全体の内容の概要〕

絵本、紙芝居、沖縄の子どもの為の伝承文化の理論と実践を学ぶ。他、種々の児童文化財について、制作し実践方法を学ぶ。

〔授業修了時の達成課題(到達目標)〕

教育・保育現場で自信をもって子どもに接し、適宜児童文化財を活用できる能力が身につく。

コマ数	授業のテーマ	授業の内容
1	文化児童講義	文化の意味、歴史を知る
2	児童文化財	種類と紹介、あなたの中の児童文化財
3	子どもの為の伝承文化	沖縄のわらべうた、手遊び、民話を聞く
4	沖縄の民話	歴史、種類、特質・覚え方
5	絵本論	歴史と種類
6	子どもの成長と絵本Ⅰ	読み解きと読み聞かせ実践(0歳から2歳)
7	子どもの成長と絵本Ⅱ	読み解きと読み聞かせ実践(3歳から6歳)
8	紙芝居Ⅰ	特性と演じ方
9	紙芝居Ⅱ	実演演習
10	お話の小道具Ⅰ	紙を使って遊ぶ制作と実践演習
11	お話の小道具Ⅱ	軍手人形かくれんぼうさぎ
12	伝承玩具制作Ⅰ	日本の伝承玩具パタパタ
13	伝承玩具制作Ⅱ	ブンブンごま作り、パタパタ
14	実践発表会	民話語り、読み聞かせ、紙芝居、その他
15	科目のまとめ	学習のまとめと総合評価

〔使用テキスト・参考文献〕

「演習　児童文化　保育内容としての実践と展開」
萌文書林

〔参考文献〕

『紙芝居・共感のよろこび』まついのりこ著(童心社)
『読み聞かせの本リスト』改訂3版
(沖縄県子どもの本研究会編・発行)
『沖縄の昔ばなし山本川恒翁の語り』
(沖縄伝承話資料センター発行)

〔単位認定の方法及び基準〕

1. 学則第 23 条 1 項(認定基準)に基づく
2. 学則第 24 条 1 項(成績の評価)に基づく
3. 評価規定:優(A)100点～80点・良(B)79点～70点・可(C) 69点～60点
4. 評価方法:筆記試験、実技発表

授　業　概　要

【2023 年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
乳児保育Ⅰ	(講義・演習・実習)	宮川　名子

〔授業の回数〕	〔時間数〕	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
16　回	時間	こども未来学科	1 年　　後期

〔授業の目的・ねらい〕

・乳児保育の意義・目的と歴史的変遷及び役割等について学び、保育所、乳児院等多様な保育現場における乳児保育の現状と課題について理解している。

・３歳未満児の発達を踏まえた保育を理解し、乳児保育における連携・協働のあり方を知る。

〔授業全体の内容の概要〕

乳児期は、人生の出発点であり、人間が一生のうちで最も成長する時期である。そのため、個々の発達に合わせた受容的で応答的な関わりが大切である。乳児保育の現状や課題を理解し、３歳未満児の発達を踏まえた保育内容と保育者の役割について学んでいく

〔授業終了時達成課題(到達目標)〕

・乳児保育の意義・目的と役割を理解する。

・３歳未満児の発達を踏まえた保育を理解し、乳児保育における連携・協働のあり方を知る。

コマ数	授業のテーマ	授業の内容
1	乳児保育の意義・目的と歴史的変遷	乳児保育の意義と概念を理解すると共に乳児保育が一般化された経緯と現状を知る。
2	乳児保育の役割と機能	今日における乳児保育の役割と機能について理解する。
3	乳児保育における養護と教育	保育における養護と教育について理解し、養護と教育の一体性の概念を知る。
4	乳幼児をを取り巻く環境と子育て支援	現代の子育ての現状を知ると共に、保育者の役割、課題などを学ぶ。
5	保育所における乳児保育	乳児保育の場の一つである保育所の特色・役割を学ぶ。
6	乳児院、地域型保育における乳児保育	乳児保育の場の一つである乳児院、地域型保育の特色・役割を学ぶ。
7	家庭的保育等における乳児保育	乳児保育の場の一つである家庭的保育等の特色・役割を学ぶ。
8	３歳未満児の生活と環境	３歳未満児の生活面と環境・援助の実際を理解する。
9	３歳未満児の遊びと環境	３歳未満児の遊びと環境・援助の実際を理解する。
１０	発育・発達を踏まえた援助やかかわり	３歳未満児の発育・発達を踏まえた援助、かかわりを理解する。
１１	発育・発達を踏まえた保育における配慮	３歳未満児の社会的発達、精神的発達の視点を踏まえ、保育における配慮を学ぶ。
１２	乳児保育における計画・記録・評価	記録の意義、方法、評価の仕方を学ぶ。
１３	乳幼児保育における連携	保護者、地域の関係機関との連携について理解する。
１４	保健・衛生・安全危機管理	子どもの健康支援のあり方を理解する。
１５	育児の実際と援助のポイント	沐浴、調乳、おむつ交換、手洗いのポイントを理解する。
１６	まとめ、試験	

〔使用テキスト〕

乳幼児保育Ⅰ（豊岡短期大学）

〔参考文献〕

保育所保育指針、こども園教育・保育要領解説書

〔単位認定の方法及び基準〕

1.学則第 18 条 1 項(認定基準)に基づく

2.学則第 19 条 1 項･2 項(成績の評価と履修認定)に基づく

3.評価規定…優(A)100 点～80 点、良(B)79 点～70 点、可(C)69 点～60 点

4.レポート･筆記試験

授 業 概 要

【2023年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
保育実習事前指導　Ⅰ	演習	仲間　優子

〔授業の回数〕	〔時間数〕(単位数)	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
15回	30時間(2単位)	こども未来学科	1年次　後期

〔授業の目的・ねらい〕

・保育所実習や児童福祉施設実習の内容と課題を明確にし，実習で学ぶ上での施設の意義や役割理解，人権擁護等についての施設職員に求められる倫理や専門性などの留意事項を学ぶ
・保育の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解する。

〔授業全体の内容の概要〕

■保育士として実務経験のある教員が、その経験を活かして、保育実習における意義、実習生としての心構えや態度、記録の方法など実習効果を高めるための指導を行う科目である。
・保育実習における意義について学び、また、実習生としての心構えや態度を身につける。
・保育所の一日の流れを理解し、年齢別の保育のポイントを具体的に理解する。
・記録の方法を深める為にグループ討議や演習を行い、実際の保育計画を立てる。

〔授業修了時の達成課題(到達目標)〕

・実習生としての基本的な心構えや態度が身についており、保育所の社会的役割、機能や乳幼児の心身の発達の理解ができている。
・社会的養護における子どもの支援と保育者としての専門性を理解する。【職業知識・技能の育成】

コマ数	授業のテーマ	授業の内容
1 2	事前指導ガイダンス	・授業概要の説明／実習Ⅰ(保育・施設)Ⅱ・Ⅲ ・保育所実習の意義と目的、実習生の心構え、実習の目標について
3 4	実習について	・保育所の機能と保育士の職務 ・実習段階と内容・方法 ・DVD 鑑賞(仕事ハッケン伝:クロちゃん×保育業界)
5 6	保育実習について 施設実習について	・保育所の機能と保育士の職務 ・五領域/養護と教育の一体化について ・実習施設の種別や役割について学ぶ
7 8 9 10	実習日誌の意義と記録法 指導案について	・実習簿の中身の確認/実習計画書の作成 ・実習日誌の意義、記録のポイント ・部分実習、指導案作成について
11 12	模擬保育等を行い多様な保育技術の習得をする	・指導案を元にグループで模擬保育の実施
13 14	書類作成 (オリエンテーション)	・オリエンテーションについて/実習生についての作成 ・実習に必要な事務手続き、実習先保育所訪問時のマナー ・自己紹介等に使用できる教材作り
15	実習準備(製作)・実習の心得/準備	・実習最終確認 ・2年生との情報交換 ・出発式

〔使用テキスト・参考文献〕

・新基本保育シリーズ20保育実習
・保育所保育指針
・社会福祉小六法

〔参考文献〕

〔単位認定の方法及び基準〕

1. 学則第 23 条 1 項(認定基準)に基づく
2. 学則第 24 条 1 項(成績の評価)に基づく
3. 評価規定:優(A)100点～80点・良(B)79点～70点・可(C) 69点～60点
4. 評価方法:授業態度 60%、提出課題 20%、グループワークへの参加 20%を総合的に評価する。

授 業 概 要

【2023年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
保育実習　I	実習	仲間　優子

〔授業の回数〕	〔時間数〕(単位数)	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
88H＋ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ2H×2	180時間(4単位)	こども未来学科	1年　後期

〔授業の目的・ねらい〕

保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。
観察や子どもとの関わりを通してこどもへの理解を深める。
既習の教科の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に学ぶ。

〔授業全体の内容の概要〕

保育の計画、実践、観察、記録及び自己評価などについて実際に取り組み、理解を深める
養護と教育が一体となって行われる保育を理解する。

〔授業修了時の達成課題(到達目標)〕

保育所の保育を実際に実践し保育士として必要な資質・技術を習得する
保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解する。

ｺﾏ数	授業のﾃｰﾏ	授業の内容

〔使用ﾃｷｽﾄ・参考文献〕

・保育園の実習完全ﾏﾆｭｱﾙ
・保育所保育指針
・幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説

〔参考文献〕

保育の学びｽﾀｰﾄﾌﾞｯｸ

〔単位認定の方法及び基準〕

1. 学則第 23 条 1 項(認定基準)に基づく
2. 学則第 24 条 1 項(成績の評価)に基づく
3. 評価規定:優(A)100点～80点・良(B)79点～70点・可(C) 69点～60点
4. 評価方法:実習評価など

授 業 概 要

【2023年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
ピアノの基礎	実技	中村　美和

〔授業の回数〕	〔時間数〕(単位数)	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
30回	30時間（ 1単位）	こども未来学科	1年　前期

〔授業の目的・ねらい〕
保育現場において求められるピアノの基本的技術を習得する。

〔授業全体の内容の概要〕
ピアノの技術習得のためのポイントの説明とその演習を行う。

〔授業修了時の達成課題（到達目標）〕
保育現場にて活用できる程度のピアノ演奏および引き歌いの技術が習得できる。

コマ数	授業のテーマ	授業の内容
1 ↓ 5	バイエル46番	課題曲の練習のポイントの説明と演習
6 ↓ 10	バイエル55番	課題曲の練習のポイントの説明と演習
11 ↓ 15	ソルフェージュ曲	階名唱の練習、音程とリズムの確認 課題曲の練習のポイントの説明と演習
16 ↓ 20	むすんでひらいて ハッピーバースデー	課題曲の練習のポイントの説明と演習
21 ↓ 29	おはよう おかたづけ	課題曲の練習のポイントの説明と演習
30	まとめ	ピアノ、弾き歌い、ソルフェージュまとめ

〔使用テキスト・参考文献〕

〔参考文献〕

〔単位認定の方法及び基準〕

1. 学則第 23 条 1 項(認定基準)に基づく
2. 学則第 24 条 1 項(成績の評価)に基づく
3. 評価規定：優(A)100点～80点・良(B)79点～70点・可(C) 69点～60点
4. 評価方法：実技試験

授 業 概 要

【2023年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
こどもと音楽表現Ⅰ（ピアノ）	実技	屋嘉比　芝光

〔授業の回数〕	〔時間数〕(単位数)	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
30回	30時間（ 1単位）	こども未来学科	1年　後期

〔授業の目的・ねらい〕
保育現場において求められるピアノの技術を習得する。

〔授業全体の内容の概要〕
ピアノの技術習得のためのポイントの説明とその演習を行う。

〔授業修了時の達成課題（到達目標）〕
保育現場にて活用できる程度のピアノ演奏および引き歌いの技術が習得できる。

コマ数	授業のテーマ	授業の内容
1 ↓ 5	バイエル103番	課題曲の練習のポイントの説明と演習
6 ↓ 10	朝のうた	課題曲の練習のポイントの説明と演習
11 ↓ 15	ソルフェージュ曲	階名唱の練習、音程とリズムの確認 （バイエル、朝の歌も並行して演習）
16 ↓ 20	バイエル104番	課題曲の練習のポイントの説明と演習 （ソルフェージュ曲も並行して演習）
21 ↓ 29	バイエル2曲、朝のうた、ソルフェージュ曲	試験に向けての仕上げ
30	実技試験	ピアノ、弾き歌い、ソルフェージュ実技試験

〔使用テキスト・参考文献〕

〔参考文献〕

〔単位認定の方法及び基準〕
1. 学則第 23 条 1 項(認定基準)に基づく
2. 学則第 24 条 1 項(成績の評価)に基づく
3. 評価規定：優(A)100点～80点・良(B)79点～70点・可(C) 69点～60点
4. 評価方法：実技試験

授 業 概 要

【2023年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
人間関係論	講義	赤嶺　遼太郎

〔授業の回数〕	〔時間数〕(単位数)	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
8回	15時間(1単位)	こども未来学科	1年次　後期

〔授業の目的・ねらい〕
新幼稚園教育要領で示された人との関わりに関する3つのポイントを理解し実践できるようになる。

〔授業全体の内容の概要〕
保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領との関連も踏まえながら幼児期の人間関係について学ぶ。

〔授業修了時の達成課題(到達目標)〕
幼稚園教育要領に示されている3つのねらいについて理解を深め実践できるようになる。

コマ数	授業のテーマ	授業の内容
1	領域「人間関係」とは	5 領域の人間関係の位置づけを理解する
2	人間関係を取り巻く社会環境について①	日本社会における少子高齢化がもたらす社会環境の変化を学ぶ。特に地域社会と家庭との関係の変化を学ぶ。
3	人間関係を取り巻く社会環境について②	少子高齢化にともなうこどもを取り巻く変化を学ぶ。
4	人間関係をつむぐ子どもの発達について①	規範意識と道徳性の芽生え、ルールや決まりごとの意味と意義について。一人一人が大切にされることの意義。
5	人間関係をつむぐ子どもの発達について②	子どもの自立心の育ち、子どもの協働性の芽生えとそれをどう支援するかを学ぶ。
6	人間関係と子どもの遊びについて①	遊びの中で育つ乳児の人間関係について。
7	人間関係と子どもの遊びについて②	遊びの中で育つ幼児の人間関係について。
8	人間関係と子どもの生活と課題について	家庭・地域とこども達の関係。多様化する文化とこども達の関係を学び、さらにまとめを行う。

〔使用テキスト・参考文献〕
「人間関係論」 豊岡短期大学

〔参考文献〕

〔単位認定の方法及び基準〕
1. 学則第 23 条 1 項(認定基準)に基づく
2. 学則第 24 条 1 項(成績の評価)に基づく
3. 評価規定:優(A)100点～80点・良(B)79点～70点・可(C) 69点～60点
4. 評価方法:レポート、筆記試験

授 業 概 要

【2023 年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
こどもと造形	講義・演習	平良　亜弥

〔授業の回数〕	〔時間数〕(単位数)	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
8回	15時間(1単位)	こども未来学科	1年次　前期

〔授業の目的・ねらい〕

保育内容を踏まえ、幼児教育の指導・援助者として、造形の基本的な知識、形や色、教材、用具、表現技法等の造形理論をもとに手の動き・感性・造形志向が一体となった造形活動を理解する。

〔授業全体の内容の概要〕

幼児教育の指導・援助者として形や色などの造形の理論をもとに、えがく表現、つくる表現そして造形あそびの領域と技法について、また、それに伴った教材、用具の特徴と利用について理解していく。

〔授業修了時の達成課題(到達目標)〕

保育指導法「表現」のねらいと保育内容等に基づいた保育の基本について理解できる。乳幼児期の表現活動の大切さと表現にともなう形、色、材質、手法、材料等について理解できる

コマ数	授業のテーマ	授業の内容
1	授業内容の説明・造形表現のねらい	幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領における「表現」の領域を踏まえた幼児造形表現のねらい
2	発達段階についての理解	こどもの発達段階とえがく、つくる、造形あそびの特徴と理解
3	発達段階の援助	こどもの発達段階の基本的な考え方に基づく、えがく、つくる、造形あそびの指導、援助、評価
4	えがく活動についての理解	えがく活動における形態・色彩の理論、絵画技法、製作、材料・用具を踏まえた指導援助、評価
5	つくる活動についての理解	つくる活動における技法と活用、素材(廃材)、製作、材料・用具を踏まえた指導援助、評価
6	造形あそびについての理解	造形あそびにおける各種表現技法、製作、材料・用具を踏まえた指導援助・評価
7	実践的な指導について	実践的な指導法の学習と情報機器及び教材の活用
8	乳幼児期の造形教育について	美術の歴史的展開の概説及び乳幼児造形教育の意義と課題と展望、全体のまとめ

〔使用テキスト・参考文献〕

造形表現論/豊岡短期大学

〔参考文献〕

〔単位認定の方法及び基準〕

1. 学則第 23 条 1 項(認定基準)に基づく
2. 学則第 24 条 1 項(成績の評価)に基づく
3. 評価規定:優(A)100点～80点・良(B)79点～70点・可(C) 69点～60点
4. 評価方法:制作物、課題レポート

授 業 概 要

【2023 年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
こどもと音楽(音楽表現論)	講義	大城　了子

〔授業の回数〕	〔時間数〕(単位数)	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
8回	15時間(1単位)	こども未来学科	1年次　前期

〔授業の目的・ねらい〕

感性と表現に関する領域「表現」について、音楽という一側面からアプローチする。こどもの発達と感性や創造性の育成と音楽表現の相関と実践的指導で求められる理論的且つ実践的な知識と技術の習得を目指す。

〔授業全体の内容の概要〕

（1）領域「表現」における音楽表現の視点から表現に対する保育者としての感性を養う。
（2）こどもと音楽とのかかわりから生まれる表現について理解し、こどもの豊かな感性や創造性、達成感を育む過程について理解する。
（3）家庭や小学校以降への学びの連続性も視野に入れて具体的指導法についても習得する。

〔授業修了時の達成課題(到達目標)〕

感性と表現に関する領域「表現」について理解し、音楽表現指導に関する専門的知識・技能・表現力を習得する。

コマ数	授業のテーマ	授業の内容
1	感性と表現に関する領域「表現」の理解	こどもの発達段階ごとに音とのかかわりがどのように変化するのか、幼児教育の側面から学ぶ。
2	こどもと音とのかかわりとこどもの歌について	こどもをとりまく生活や自然の音への気づきとそれを楽しむことと、こどもの歌について学ぶ。
3	こどもの歌からみえる他領域とのかかわり	音楽における「表現」と他領域(身体・人間関係・環境・ことば等)とのかかわりについて理解をし、表現方法やアプローチについて考察する。
4	保育における音楽表現の実践①	幼児のための楽器や楽器づくりについて理解を深める。 ※レポート案提出締切。
5	保育における音楽表現の実践②	幼児のための楽器や手作り楽器を通して「歌を歌う」「楽器あそび」などの音楽表現活動の実践を行うための指導案を作成する。
6	保育における音楽表現の実践③	作製した指導案に基づいて音楽表現を伴う模擬保育の実践をする。
7	音楽表現の実践のための理解①	音楽表現指導のための専門的知識としての楽典を学ぶ①
8	音楽表現の実践のための理解②	前回学んだ楽典についてさらに理解を深め、小学校教育における音楽表現への連続性について考察する。

〔使用テキスト・参考文献〕

「音楽表現論」「幼稚園教育要領解説」
「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」

〔参考文献〕

授業時において、適宜指示する。

〔単位認定の方法及び基準〕

1. 学則第 23 条 1 項(認定基準)に基づく
2. 学則第 24 条 1 項(成績の評価)に基づく
3. 評価規定:優(A)100点～80点・良(B)79点～70点・可(C) 69点～60点
4. 評価方法:レポート・筆記試験

授 業 概 要

【2021 年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
保育実習事後指導　Ⅰ	演習	仲間　優子

〔授業の回数〕	〔時間数〕(単位数)	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
8回	15時間(1単位)	こども未来学科	1年次　後期

〔授業の目的・ねらい〕
・保育所の社会的役割、機能を理解する。
・観察や子どもとのかかわりを通して乳幼児への理解を深める。
・保育の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解する。
・保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。

〔授業全体の内容の概要〕
■保育士として実務経験のある教員が、その経験を活かして、保育士の役割、保育所の社会的役割や機能の理解など、実習効果を高めるための指導を行う科目である。
・保育実習における意義について学び、また、実習生としての心構えや態度を身につける。
・保育所の一日の流れを理解し、年齢別の保育のポイントを具体的に理解する。
・記録の方法を深める為にグループ討議や演習を行い、実際の保育計画を立てる。

〔授業修了時の達成課題(到達目標)〕
保育士の役割、保育所の社会的役割、機能や乳幼児の心身の発達の理解ができているか、実習を振り返りながら確認する。

ｺﾏ数	授業のﾃｰﾏ	授業の内容
1 2	実習の振り返り	＜講義＞ ・自己評価及び実習振り替えシート'を記入し、発表する。
3	保育実習課題のまとめ	＜グループ討議＞ ・各グループに分かれてそれぞれの実習中のエピソードとヒヤリハットについて話をし、意見をまとめる。
4 5	実習報告会に向けてのﾌﾟﾚｾﾞﾝ資料(ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ作成)	・保育実習Ⅰ(保育園)では、エピソード記録、ヒヤリハットについてパワーポイントを作成する。 ・保育実習Ⅰ(施設)では、施設の概要や種別、実習を通して学んだこと等をパワーポイントにてまとめる。
6 7 8	実習報告会及び保育実習Ⅰのまとめ	＜発表＞ 各グループの発表や質疑応答等を通して様々な関わり方や施設について学びを深める。 ・事後指導を通して実習の総括を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。 ・「保育実習 1 を振り返って」というﾃｰﾏでレポートを作成する。

〔使用ﾃｷｽﾄ〕
・保育園の実習完全マニュアル
・保育所保育指針

〔参考文献〕

〔単位認定の方法及び基準〕
1. 学則第 23 条 1 項(認定基準)に基づく
2. 学則第 24 条 1 項(成績の評価)に基づく
3. 評価規定:優(A)100点～80点・良(B)79点～70点・可(C) 69点～60点
4. 評価方法:発表 50%、グループワーク 30%、レポート 20%を総合的に評価する。

授 業 概 要

【2023年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
チャイルドケア	講義	仲間　優子

〔授業の回数〕	〔時間数〕(単位数)	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
8回	15時間(1単位)	こども未来学科	1年次　前期

〔授業の目的・ねらい〕

1. 子どものこころとからだの発達理解に基づく、保育者に必要な子どものケアの内容と方法について、様々な視点から学ぶ。
2. 互いに影響・尊重合いながら、様々なことを学び、人間関係が深まる中で協同的な学びを経験する。
3. グループでの作業(話し合い、制作活動など)を中心に進める。保育園などで読み聞かせを行い子ども達との遊びや読み聞かせを通して子どもの姿を観察し、子ども達の「遊び」の観察、環境設定について学ぶ。

〔授業全体の内容の概要〕

〔授業修了時の達成課題(到達目標)〕

子どもの育ちを理解し、専門知識・技術を活用し、根拠に基づく保育技術の提供、保育実践ができチーム保育の重要性を理解できる。

コマ数	授業のテーマ	授業の内容
1	保育とは何か	・グループディスカッション 「保育」に対するイメージや、経験から保育観や保育者像について考え、具体的な将来像を持つ
2	子どもの発達とあそび あそびを体験する	・様々な保育教材があることを知り、実践(体験)することで教材について学びを深める。 ・エプロンシアター　・絵本(大型・布・バリアフリー) ・ペープサート・パネルシアター　・木のおもちゃ
3	子どもの発達と絵本 保育展開を学ぶ 手あそび	・絵本の魅力と絵本の読み聞かせについて ・手あそびノート製作 ・名札提出　：　7/3(金)
4	絵本の読み聞かせ ダンス	・絵本の読み聞かせ実践(5冊持参) ・活動プログラムを考え、保育指導案を作成する。 ・活動にあたっての留意事項を確認し、チーム保育について理解する。
5	保育展開の実践 確認・準備	(グループワーク) ・ペープサート作成 ・指導案に沿って模擬保育を行う ・活動にあたっての留意事項を確認し、チーム保育について理解する
6		
7		
8		

〔使用テキスト・参考文献〕

〔参考文献〕

〔単位認定の方法及び基準〕

1. 学則第 23 条 1 項(認定基準)に基づく
2. 学則第 24 条 1 項(成績の評価)に基づく
3. 評価規定:優(A)100点～80点・良(B)79点～70点・可(C) 69点～60点
4. 評価方法:授業参加 50%、グループワーク 30%、提出物 20%を総合的に評価する。

授 業 概 要

【2023年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
保育・教育基礎演習　I	演習	大城克也・仲間　優子

〔授業の回数〕	〔時間数〕(単位数)	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
8回	15時間(1単位)	こども未来学科	1年次　通年

〔授業の目的・ねらい〕
保育士・幼稚園教諭、対人援助職を目指す上で必要な技能・知識・意識を講義・演習を通して身につける。

〔授業全体の内容の概要〕
専門科同の履修がｽﾑｰｽﾞにいくように、ｸﾗｽにおけるﾁｰﾑﾜｰｸ、協調性を高める取り組みを行う。さらに基礎的な技能・知識を習得し、専門科目の履修につなげていく。

〔授業修了時の達成課題(到達目標)〕
問題意識を持ち、向上心のある保育士を目指す姿勢が確認できる。

ｺﾏ数	授業のﾃｰﾏ	授業の内容
1	ｾﾞﾐﾅｰﾙの意義と心構え	授業計画を説明し、主体的な学習活動となるよう説明する。
2	仲間を知る。ﾁｰﾑﾜｰｸを高める。	入学後、慣れない環境の中で、ｹﾞｰﾑや球技を通してｸﾗｽﾒｲﾄと仲良くなり、ﾁｰﾑﾜｰｸを高める活動を行う。
3	実習出発式の参加	2 年生の選択実習出発式に参加し、2 年生に対して激励の機会とする。実習生の目標や抱負を聞くことで、来年講義、1、2 月に予定されている最初の実習に対する意識を高める。
4 5	福祉と平和学習	平和について考え、災害時の避難誘導や避難場所の確認などを、ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸを通して学ぶ。
6	選択実習事後指導報告会への参加	2年生の選択実習事後指導の報告会に参加し、実習の様子や実習簿の書き方など具体的な活動の様子を学ぶ機会とする。
7	教育実習出発式への参加	幼稚園教育実習の出発式に参加し、2年生最後の実習に対する激励と教育実習の事について学ぶ。
8	2 年生教育実習事後指導参加	教育実習事後指導の報告会に参加することで、実習の様子を知る。

〔使用ﾃｷｽﾄ・参考文献〕
自主制作資料

〔参考文献〕

〔単位認定の方法及び基準〕
1. 学則第 23 条 1 項(認定基準)に基づく
2. 学則第 24 条 1 項(成績の評価)に基づく
3. 評価規定:優(A)100点～80点・良(B)79点～70点・可(C) 69点～60点
4. 評価方法:課題ﾚﾎﾟｰﾄ

授 業 概 要

【2023年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
生活技術の基礎	演習	大城　克也・仲間　優子

〔授業の回数〕	〔時間数〕(単位数)	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
8回	15時間(1単位)	こども未来学科	1年　　通年

〔授業の目的・ねらい〕
保育士・幼稚園教諭として日常生活に必要な技術を身につけ、実践に活かせるようになる。

〔授業全体の内容の概要〕
演習を中心にグループでの協調性を大切にしながら各時間の課題に取り組む。

〔授業修了時の達成課題(到達目標)〕
これまでは当たり前にできていたことも生活様式の変化や電動化などにより、できる・できないの個人差が多くなっている。保育現場での実践に役立てられるようになることを目標とする。

コマ数	授業のテーマ	授業の内容
1 2	こいのぼり作り	グループごとにビニール袋を使ったこいのぼりを制作する。
3	調理実習(だしを取って、昼食を作る)	カツオ節を削り、だしを取るところから始め、昼食を作る。
4		基本的な調理器具の使い方を学ぶ。(缶切りなど)
5 6	郷土の伝統行事とおやつ作り	伝統行事であるムーチーの日を理解し、ムーチーを作る。
7 8	昔遊び　コマ回し　けん玉	無地の木製コマとけん玉に装飾を施し、遊んでみる。

〔使用ﾃｷｽﾄ・参考文献〕
自主制作資料

〔参考文献〕

〔単位認定の方法及び基準〕
1. 学則第 23 条 1 項(認定基準)に基づく
2. 学則第 24 条 1 項(成績の評価)に基づく
3. 評価規定:優(A)100点～80点・良(B)79点～70点・可(C) 69点～60点
4. 評価方法:課題ﾚﾎﾟｰﾄ

授 業 概 要

【2023 年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
社会人基礎教育Ⅰ	講義・演習	松前　英行

〔授業の回数〕	〔時間数〕(単位数)	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
8回	15時間(1単位)	こども未来学科	1年次　前期

〔授業の目的・ねらい〕

社会人基礎力の 3 つの能力/12 の能力要素を内容としつつ、能力を発揮するにあたって事故を認識してレフレクションしながら、目的、学び、統合のバランスを図り、自らキャリアを切り開く力を養う。

〔授業全体の内容の概要〕

対人関係、自己理解能力を高め、社会人として求められる能力の習得を目指す

〔授業修了時の達成課題(到達目標)〕

社会人基礎力の 3 つの能力/12 の能力要素をみにつける

コマ数	授業のテーマ	授業の内容
1	社会人基礎力とは	主体的な学びを実践するための目標設定 沖縄福祉保育専門学校が求める学びのあり方
2	自己理解、自己分析	自己理解、自己分析、自己表現方法について
3	事例を用いた対人関係演習①	他社理解、人間関係の構築
4	事例を用いた対人関係演習②	ストレスマネジメント、マインドフルネス
5	価値観の共有①	対話を通しての訓練(その1)
6	価値観の共有②	対話を通しての訓練(その2)
7	社会人として求められる能力	社会人として求められる能力、環境整備、感染対策の重要性、計画性(キャリアプランの思考)
8	全体まとめ・振り返り	事例の検討、対話の実践

〔使用テキスト・参考文献〕

造形表現論/豊岡短期大学

〔参考文献〕

〔単位認定の方法及び基準〕

1. 学則第 23 条 1 項(認定基準)に基づく
2. 学則第 24 条 1 項(成績の評価)に基づく
3. 評価規定:優(A)100点～80点・良(B)79点～70点・可(C) 69点～60点
4. 評価方法:制作物、課題レポート

授 業 概 要

【2023 年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
表現とこどもの運動	講義・演習	手登根　雄次

〔授業の回数〕	〔時間数〕(単位数)	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
8回	15時間(1単位)	こども未来学科	1年次　後期

〔授業の目的・ねらい〕

年齢や運動遊びと身体表現を通じてこども同士がどう工夫し、表現し、仲間とよりよく関わっていくことができるかを、発達段階に沿って展開させることを学ぶ。また、こども達が楽しく表現運動することができる安全性についても認識を深める。

〔授業全体の内容の概要〕

こどもの表現遊びや運動が年齢に応じて展開されていくことを理解し、表現悪阻日運動の実践例からイメージを膨らませ、安全に楽しく遊びが転換できる知識及び実践力を深める。

〔授業修了時の達成課題(到達目標)〕

幼児の身体的表現活動の留意点について理解し、自分の考えを持つことができる。

こども同士で運動遊びにおける表現や心身の健康など、援助者として発達状況に応じた援助の在り方を理解し、問題に取り組むことがきるようにする。

コマ数	授業のテーマ	授業の内容
1	運動遊びのねらい	運動遊びのねらいと援助について
2	こどもの発達と運動について	身体・形態・機能・こころの発育発達 こどもと運動
3	運動遊びの基本的な動き	基本運動(歩・走・跳・投・押・引・転・登) 運動表現の要素(調整力・身体認知・空間認識)
4	身体コントロール能力の向上	調整力中心の体つくり運動 音・色などの刺激に対応する運動
5	こどもの表現運動①	表現運動実践の教育的意義 身体表現運動とは
6	こどもの表現運動②	身体表現運動ねらい
7	発達段階と表現運動の実践	年齢別発達における表現遊び(リズム運動、ごっこ遊び、おはじき等) 手遊びとリズム表現
8	表現運動における安全指導	安全管理について(安全の考え方、物的管理、人的管理、用具管理等)

〔使用テキスト・参考文献〕

・表現とこどもの運動/豊岡短期大学
・幼稚園教育要領解説
・保育所保育指針解説
・幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説

〔参考文献〕

〔単位認定の方法及び基準〕

1. 学則第 23 条 1 項(認定基準)に基づく
2. 学則第 24 条 1 項(成績の評価)に基づく
3. 評価規定:優(A)100点～80点・良(B)79点～70点・可(C) 69点～60点
4. 評価方法:制作物、課題レポート

授 業 概 要

【2023年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
教育心理学	講義	喜屋武幸・宮城　元子

〔授業の回数〕	〔時間数〕(単位数)	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
15回	30時間(2単位)	こども未来学科	1年次　後期

〔授業の目的・ねらい〕

教育の過程における心の動きを心理学的に分析し、理解し、その過程を解明することによって、教育活動を効果的に進めるための知識や技術、実践方法を提供することを目的とする。

〔授業全体の内容の概要〕

各テーマに事例をあげながら具体的に活用していけるよう授業を行う。また、具体的な事例及び関連内容に関してはオムニバス形式の講義で理解を深められるよう運営する。

〔授業修了時の達成課題(到達目標)〕

教育心理学の概要を理解し、保育実践に役立てるような学習達成を目標とする。

コマ数	授業のテーマ	授業の内容
1	心理学とは	多種多様な心理学を紹介し、その中で、教育心理学の位置づけや研究方法、今後の授業展開を講義する。
2	発達の原理と段階(こどもの発達)	発達の定義、遺伝と環境の影響、発達段階と発達課題について、身体の発育・発達知の発達、遊びの発達。
3	学習とは何か	学習理論について学び、心理学における学習を考える。
4	動機付け	動機付けの種類とその特性。動機を継続するにはどうしたらいいのかを考える。
5	古典的条件付けにについて	古典的条件付けとは何か、日常の事例を参考に考える。
6	オペラント条件付けについて	オペラント条件付けとは何か、日常の事例を参考に考える。
7	記憶について	記憶の種類と特性について学ぶ。
8	主体的な学習を支える「やる気」について	指導者の態度(ピグマリオン効果)について考える。
9		様々な学習形態とその効果。動機付けが高まる理由について演習を通じて考察する。
10	こどもの遊びの重要性について	遊びの変化とその重要性について学ぶ。
11		遊びを通した社会性の発達を学ぶ。
12	こどもと道徳について	幼児期に迎える第一次反抗期と自立について学ぶ。
13		道徳の指導方法について考察する。
14	配慮が必要なこどもの支援のあり方について	多様なこどもの支援のあり方について考察する。
15	教育心理学に基づく保育実践・まとめ	今後の実践に向けた考察、学習のまとめを行う。

〔使用テキスト・参考文献〕

「「教育心理学」

〔参考文献〕

〔単位認定の方法及び基準〕

1. 学則第 23 条 1 項(認定基準)に基づく
2. 学則第 24 条 1 項(成績の評価)に基づく
3. 評価規定:優(A)100点～80点・良(B)79点～70点・可(C) 69点～60点
4. 評価方法:レポート、筆記試験

授　業　概　要

【2023 年度】

〔科目名〕	〔授業の種類〕	〔授業担当者〕
教育実習事前指導	(講義・演習・実習)	宮川　名子

〔授業の回数〕	〔時間数〕	〔配当学科〕	〔配当学年・時期〕
8 回	15 時間	こども未来学科	1 年　　後期

〔授業の目的・ねらい〕
教育実習の意義や目的を理解すると共に教育実習に求められる必要不可欠な基礎的・基本的な事柄を身付ける。

〔授業全体の内容の概要〕
教育実習の基礎的・基本的な事項を身に付け、最終的には実習日誌記入方法や指導案作成方法をしっかり理解し、授業内で立案まで出来るようにする。

〔授業終了時達成課題(到達目標)〕
- 教育実習の意義や目的を理解する。
- 実習の心構えを学び、実践に必要な準備に自ら取り組む。
- 観察実習、参加実習、責任実習の内容について理解し、準備、実践、振り返りに意欲的に取り組む。

コマ数	授業のテーマ	授業の内容
	教育実習の意義, 目的	教育実習の意義や目的をしっかり理解する。
	教育実習の段階	教育実習の段階を理解し、それぞれの段階での目的, 目標を明確にする。
	保育所と幼稚園の違い	保育所と幼稚園の違いを把握する。
	幼稚園の１日	幼稚園の１日の流れを DVD に沿って視聴し、ポイントを押さえる。
	海外の保育について理解を深める	日本の幼稚園だけではなく、海外の保育の特徴も理解し、保育の視野を深める。（モンテッソーリ教育法など）
	実習日誌の記入	実習日誌の記入方法を理解し、実際に記入をする。
	指導案の作成	指導案の作成方法を理解し、実際に記入する。

〔使用テキスト〕
幼稚園教育実習事前・事後指導（豊岡短期大学テキスト）

〔参考文献〕
幼稚園教育要領解説、こども園教育・保育要領

〔単位認定の方法及び基準〕
1.学則第 18 条 1 項(認定基準)に基づく
2.学則第 19 条 1 項･2 項(成績の評価と履修認定)に基づく
3.評価規定…優(A)100 点～80 点、良(B)79 点～70 点、可(C)69 点～60 点
4.レポート･筆記試験